

## 手続き開始の公示等の概要(参考)

本資料は、本工事の手続き開始の公示に示した条件の概要や工事内容をお知らせするための参考資料で、契約図書の一部ではありません。

本工事の詳細な内容に関しては、公示文及び入札説明書等をご覧ください。

工事名	会計検査院安中研修所(24)建築改修その他工事	
工事種別	建築工事	
工事場所(都県)	群馬県	
工事場所(市区町村)	安中市嶺字下原34-1外	
工事概要	敷地面積 40,850 m <sup>2</sup> 1. 建物 1) 庁舎 構 造: 鉄筋コンクリート造 平屋建 建築面積: 約826 m <sup>2</sup> 延べ面積: 約787 m <sup>2</sup> 用 途: 研修施設 工事内容: 建物 工事検査実習棟 改修一式 (防水改修、外壁改修、内装改修、環境配慮改修、塗装改修) 設備 電気設備 改設一式 造園 樹木 新植一式 とりこわし 既存樹木 伐採・抜根一式	
担当事務所	長野當舖事務所	
公告日/期限日/開札日	令和6年2月28日 / 令和6年3月13日 / 令和6年4月16日	
工 期	工事の始期から208日間 (余裕期間: ただし、令和6年6月3日(工事着手期限)までに工事を開始すること)	
入札契約方式/落札方式	公募型指名競争入札/総合評価落札方式(企業実績評価型)	
競争参加資格要件の概要	等級(ランク)	建築工事 C等級 または B等級
	本店・支店・営業所の所在地	関東地方整備局管内に、建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有すること。

	<p>企業の施工実績等</p>	<p>平成20年4月1日以降に、関東地方整備局管内で元請けとして完成・引渡しが完了した下記（ア）又は（イ）のいずれかの要件を満たす同種工事の施工実績を有すること。（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率20%以上の場合のものに限る。ただし、異工種建設工事共同企業体については適用しない。）</p> <p>（ア） 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造又は鉄骨造の建築物の屋根改修（塗装塗り替え含む。）又は屋上防水改修を含む工事</p> <p>（イ） 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造又は鉄骨造の建築物（躯体、外装、内装のすべてを含む。）の新築又は増築工事</p> <p>ただし、申請できる同種工事の施工実績は2件までとし、これを超える件数の施工実績を申請した場合は、申請されたすべての工事を実績として認めない。施工実績を2件申請した場合、1件の施工実績が確認できれば施工実績として認める。また、軽微なもの（請負代金額が500万円未満の工事）は、実績として認めない。</p> <p>経常建設共同企業体にあつては、構成員のそれぞれが上記（ア）又は（イ）のいずれかの施工実績を有すること。</p> <p>なお、異工種建設工事共同企業体としての実績は、協定書による分担工事の実績のみ同種工事の実績として認める。</p>
--	-----------------	--

## 「会計検査院安中研修所(24)建築改修その他工事」の概要(参考)

本資料は、本工事の概要をお知らせするための参考資料で、契約図書の一部ではありません。本工事の詳細な内容に関しては、設計図書及び現場説明書等をご覧ください。

### 【工事の概要】

本工事は、会計検査院安中研修所（群馬県安中市嶺字下原 34-1 外）の工事検査実習棟の屋根において、屋根改修、太陽光発電設備改修を行うものである。

#### (1) 主な工事内容

- ・屋根改修 カバー工法にて、鋼板屋根の新設を行う。
- ・内装改修 漏水跡による劣化部分の仕上げの更新を行う。
- ・環境配慮改修 軒裏の下地調整材に含まれるアスベストの除去を行う。
- ・塗装改修 鋼板屋根、軒先、ケラバ金物及び軒裏の塗り替えを行う。
- ・電気設備改修 太陽光発電設備の撤去新設を行う。

#### (2) 施工時期、施工条件

- ・枠組足場を全面設置の上、施工することを想定しています。
- ・工事車両を入れる際は、来庁者、通行者の安全を確保するため、交通誘導員を計上しています。
- ・その他の仮設、養生、作業範囲については「仮設設備等計画図」（K-1 図）、作業時間については現場説明書を参照。

### 【実態を踏まえた積算の運用、施工条件等の円滑な協議等】

#### (1) 実態を踏まえた積算の運用

- ・法定福利費相当額が反映された実態を踏まえた価格設定を行います。

#### (2) 入札時積算数量活用方式の適用

- ・発注者が示す入札時積算数量書を活用して入札に参加できます。

#### (3) 施工条件等の円滑な協議

- ・契約後発生した新たな調査や条件について、監督職員との協議となります。  
(請負代金額の変更が必要と判断された内容は設計変更の対象です)

#### (4) 工事関係図書等の効率化

- ・本工事では必要最小限の工事関係図書等とし、その工事関係書類の書式は次よりダウンロードできます。

[https://www.ktr.mlit.go.jp/eizen/gijyutu/eizen\\_gijyutu00000018.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/eizen/gijyutu/eizen_gijyutu00000018.html)

#### (5) 週休 2 日促進工事の適用

- ・本工事は発注者が週休 2 日に取組むことを指定する発注者指定方式を適用します。

#### (6) 主任技術者又は監理技術者の扱い

- ・本工事は余裕期間（任意着手方式）を設定しています。
- ・工事の始期を令和 6 年 6 月 3 日（工事着手期限）までの間で任意に設定でき、この期間の主任技術者又は監理技術者の配置は不要です。

#### (7) 適切な工期の確保について

・本工事においては、資機材及び機器等（以下、「機器等」という。）について、標準的な納期を元にした工期としています。昨今の機器等の納期遅延により、工期内に工事が完成できない等、工期の延期等についての申し出等があった場合には、適切に協議に応じ、工事の一時中止等の適切な措置、及び状況に応じて必要な契約変更を実施します。